

## 平成27年度施策評価調査書

整理番号	21
評価担当課	経済部耕地林務課
職・氏名	

### 1 施策の名称等

施策名(基本事業)	森林施業の計画的推進		
総合計画の位置づけ	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり(産業振興)
	主要施策	2	林業の振興

### 2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	森林が将来にわたり、適切に管理されるよう森林の有する多面的機能の発揮と安定的かつ効率的な経営を担いえる林業事業として、足腰の強い林業、さらには林産業を確立するため、森林資源の保存・管理・条件整備を図ります。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	森林の持つ多面的な機能の高度発揮と足腰の強い林業・林産業を確立するため森林整備計画を策定し、森林所有者の負担軽減と優良森林資源確保のため、助成制度を活かした民有林造林事業への支援を行っている。
施策の課題	森林所有者の高齢化や林産業コストが上昇していく中、多くの森林が数年で伐期を迎える。森林が持つ多面的な機能を発揮していくために「植えて、育てて、伐って、また植える」といったサイクルを持続していくための支援策が必要となる。

### 3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
事業実施面的	人工林の除間伐を実施した面積(ha)	目標値	260.00	210.00	220.00	-
		実績値	204.05	150.23	149.87	-
		進捗率	78%	72%	68%	-
締結協定数	締結した協定数(件)	目標値	22	1	1	-
		実績値	22	1	1	-
		進捗率	100%	100%	100%	-
就労者数	就労支援をした人数(人)	目標値	40	40	40	-
		実績値	42	40	34	-
		進捗率	105%	100%	85%	-
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

### 4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	森林所有者の高齢化や林産業コストの上昇など、山づくりにとって厳しい情勢の中、概ね指数が達成されたことや協定を締結して作業効率の高い事業が実施されていることから順調と判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も関係機関、特に森林組合と連携・協力して取り組みを継続していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	民有林林業振興推進事業	森林資源の循環利用を推進するため、除間伐や植林事業を支援	1,845	a	a	a	a	a	A		
2	森林整備地域活動支援交付事業	事業の集約化を図り作業効率の高い事業を実施するため、森林調査などを支援	2,995	a	b	b	a	b	A		
3	森林整備担い手対策推進事業	森林作業員の就労の安定化を図り、林業労働力の確保をめざす	8,845	a	a	a	a	a	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	21	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課 林務係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	森林整備地域活動支援交付事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり(産業振興)
		主要施策	2	林業の振興
		基本事業	2	森林施業の計画的推進
	無	実施計画事業	1	森林整備計画の策定

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	事業の集約化を図り、作業効率の高い事業実施を推進するため、森林調査と森林所有者の意思確認			
対象(何を又は誰を)	森林の所有者			
手段=活動(仕事)	森林調査と森林所有者の意思確認を支援			
意図(どのような成果を期待しているか)	適時適切な地域活動を行うことにより、森林整備の推進が図られ森林の有する多面的な機能が確保される			
事業実施主体	森林組合			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他( )
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市農業・農村振興条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1	締結した協定数	件	目標	22	1	1	1
				実績	22	1	1	
	2			目標				
				実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	23,199	4,541	2,995	4,400	施業の集約化 1件 ※H24 施業集約化1件 作業路網の改良21件 H25 施業集約化1件
国道支出金	17,386	3,392	2,245	3,800	
地方債					
その他					
一般財源	5,813	1,149	750	600	
人件費	668	663	663	663	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	23,867	5,204	3,658	5,063	
対前年比(%)	—	22	70	138	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	1,085	5,204	3,658	総合事業費/協定締結数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3) 事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 ( ) —

#### 4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
<b>妥当性</b> 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画掲載事業。適時適切な森林整備が図られる。
<b>有効性</b> 目的を達成するための方法として有効か？	a	施業を集約することで面的に森林整備が行えるため有効な事業
<b>効率性</b> 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	国の交付金事業であるため削減は困難
<b>公平性</b> 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	事業の目的から妥当
<b>達成度</b> 活動指標、成果指標の達成度は？	a	概ね達成

#### 5 1次評価

評価結果	理由	
A	事業の目的からも本事業を継続していく必要があり、一層森林組合との連携を深めていく必要がある	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

#### 6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

#### 7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

#### 8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	21	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	民有林林業振興推進事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり(産業振興)
		主要施策	2	林業の振興
		基本事業	2	森林施業の計画的推進
	無	実施計画事業	3	民有林造林・保育事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	森林が持つ多面的機能を発揮するために、森林を保育するための除間伐事業を支援する			
対象(何を又は誰を)	森林所有者			
手段=活動(仕事)	民有林人工造林地で実施する除間伐事業への補助			
意図(どのような成果を期待しているか)	森林が持つ多面的な機能を持続的に発揮させ、広く市民が享受できるよう実施			
事業実施主体	森林所有者			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他( )
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市農業・農村振興条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)	
活動指標	1		目標						
			実績						
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
			実績						
成果指標	1	施業実施面積	ha	目標	260	210	220	200	
				実績	204.05	150.23	149.87		
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	1,912	1,384	1,845	2,400	切捨 69.12ha 出材 80.75ha ※H25 切捨59.06ha 出材91.17ha
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	1,912	1,384	1,845	2,400	
人件費	668	663	663	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.10	0.10	0.10		
総事業費	2,580	2,047	2,508	2,400	
対前年比(%)	—	79	123	96	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	13	14	17	総事業費/成果指標
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3) 事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 ( ) —

#### 4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
<b>妥当性</b> 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	森林を優良に保育するために除間伐事業はもつとも有効な事業といえる。森林が優良に保育されることによって多面的な機能が発揮され、広く市民にその効果が享受されるので適合している
<b>有効性</b> 目的を達成するための方法として有効か？	a	森林が持つ多面的機能を持続的に発揮するために有効
<b>効率性</b> 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	ヘクタール当たりの単価が適正かどうか、毎年または一定期間を設け検証していくことは必要
<b>公平性</b> 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	事業の目的から適正といえる
<b>達成度</b> 活動指標、成果指標の達成度は？	b	概ね計画どおり推移している

#### 5 1次評価

評価結果	理由	
A	木材価格の低下等から、山林に施業に経費をかけることをためらう所有者も少なくありません。森林を優良に保育することは、災害の防止や水源涵養、二酸化炭素の吸収など多くの効果があることから継続とします	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

#### 6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

#### 7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

#### 8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	21	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課 林務係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	未来につなぐ森づくり推進事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり(産業振興)
		主要施策	2	林業の振興
		基本事業	2	森林施業の計画的推進
	無	実施計画事業	3	民有林造林・保育事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	森林伐採後の確実な植林等を支援することで、森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的な機能			
対象(何を又は誰を)	森林所有者			
手段=活動(仕事)	森林伐採後の植林への補助			
意図(どのような成果を期待しているか)	森林伐採後に確実な植林が実施される			
事業実施主体	森林組合			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 32年度) ・ 無
根拠法令・条例等	名寄市農業・農村振興条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
	3		目標					
			実績					
成果指標	1	植林した面積	ha	目標	70	100	70	55
				実績	45.13	97.02	74.2	
	2			目標				
				実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	8,073	9,565	8,845	10,000	70ha
国道支出金	4,968	5,886	5,443	6,153	
地方債					
その他					
一般財源	3,105	3,679	3,402	3,847	
人件費	668	663	663	663	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	8,741	10,228	9,508	10,663	
対前年比(%)	—	117	93	112	
事業コスト	活動指標1	194	105	128	総事業費/成果指標
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3) 事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 ( ) -

#### 4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
<b>妥当性</b> 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	今後、多くの森林が伐採する時期を迎えることから植林に対する事業はニーズに適合している
<b>有効性</b> 目的を達成するための方法として有効か？	b	森林の持つ多目的機能を発揮するためには、伐採後の植林は必須だが経費がかかるため敬遠され、自然更新が好まれるが、補助があることでより確実な方法で植林がされている
<b>効率性</b> 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	補助事業でもあるためコストの削減は困難
<b>公平性</b> 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	事業の目的から適正
<b>達成度</b> 活動指標、成果指標の達成度は？	b	補助事業であるため予算の枠に左右されがちだが、概ね計画通りに達成されている

#### 5 1次評価

評価結果	理由	
A	点検項目で記載のとおり、今後も林産業にとって重要な事業となる	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

#### 6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

#### 7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

#### 8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等



平成27年度事務事業評価調書

整理番号	21	枝番	4
評価担当課・係・職名・氏名	耕地林務課 林務係		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	森林整備担い手対策推進事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり(産業振興)
		主要施策	2	林業の振興
		基本事業	3	木材需要の拡大
	無	実施計画事業	2	森林整備担い手対策推進事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	社会保険料掛け金の一部と、就労日数に応じた奨励金を支給することで、就労の長期化と安定化を促			
対象(何を又は誰を)	森林作業員			
手段=活動(仕事)	人件費の一部を負担			
意図(どのような成果を期待しているか)	就労の長期化と安定化を図ることで、担い手の確保へとつなげる			
事業実施主体	一般社団法人 北海道造林協会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他( )
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等	名寄市農業・農村振興条例			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)	
活動指標	1		目標						
			実績						
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
			実績						
成果指標	1	就労を支援した人数	人	目標	40	40	40	40	-
			実績	42	40	34		-	
	2		目標						
			実績						

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	1,166	1,097	1,039	1,099	名寄市内に住民登録のある森林作業員34人分の奨励費を負担
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源	1,166	1,097	1,039	1,099	
人件費	668	663	663	663	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	1,834	1,760	1,702	1,762	
対前年比(%)	-	96	97	104	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	44	44	50	総事業費/支援人数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3) 事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

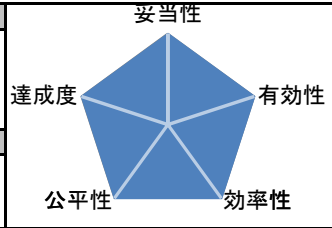
情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 ( ) -

#### 4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画登載事業。林産業従事者の就労日数等を長期化・安定させていくことは担い手の確保には必要不可欠。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	直接貢献している事業
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	全道的に取り組まれている事業であるため、負担金の削減は困難
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	事業の目的から妥当
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	

#### 5 1次評価

評価結果	理由	
A	本事業は、総計実施計画登載事業。林産業従事者の就労日数等を長期化・安定させていくことは担い手の確保には必要不可欠。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

#### 6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

#### 7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

#### 8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり